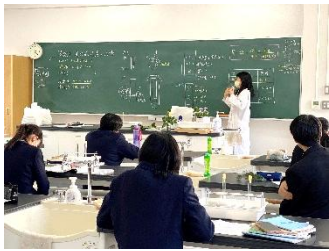


実験の様子(生物)

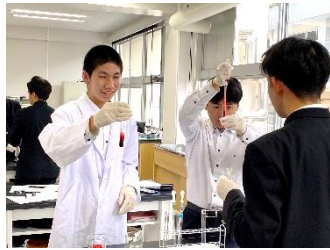
ペーパークロマトグラフィー (3年生)

ペーパークロマトグラフィーによって、緑葉に含まれる光合成色素を分離する。



血液凝固 (2年生)

血液凝固反応について、仮説検証型実験を行うことで理解を深める。



校外研修(1年)

1月8日

実験の様子(化学)

北九州環境ミュージアムの協力を得て、北九州市がこれまでに行ってきた環境分野における取り組みを学び、次年度に取り組む課題研究に対する興味関心や自分の課題を明確にさせるための校外研修を行いました。



中和滴定 (2年生)

酸・塩基の中和反応を用いて食酢中の酢酸の濃度を調べる



出前講義(2年)

2月19日

「金属資源の世界」

独立法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 (JGMEC) 金属企画部企画課担当調査役
(併)金属企画部 未来人材育成チーム 鈴木 徹 氏



今回の講演会を受けて、私達の生活と金属は切っても切り離せない、とても密接な関係にあると知り驚きました。私は将来、科学に関わる分野で働きたいと思っており、この講演から資源・エネルギー分野へと視野を広げることができました。講演会で学んだことを今後の授業内容と関連付けてより深く理解していきたいです。
2年 林 環菜(中原中学校)



今まで金属のことについて考えることが無かったけれど、今回の講義を聞いて金属は現在の産業を支えている、私達の生活になくてはならないものだということが初めて実感しました。金属資源は化学の観点だけではなく地理や物理なども関わっていると知り、おもしろそうな分野だなと感じたので、自分でも色々調べてみたいと思いました。今後は、身の回りの金属について興味をもって調べてみます。
2年 藤田 美羽(木屋瀬中学校)



私は、親族の仕事の関係もあって、意外と身近に金属を見る機会があり、講義を楽しみにしていました。資源開発に必要な鉱床を見つけるには、地質学、物理学、統計学を学ばなければならないが、運も大きく関係していることや、「まずは何でもやってみよう」というチャレンジ精神や英語、IT について学ぶことも金属資源だけでなく、様々な理系職業に必要だと分かりました。そして、金属が水に溶けたり空気にくっいたりすると知って、より深く金属について知りたいと思うようになりました。
2年 山田 鈴恋(岡垣東中学校)

